

研修名 保護者支援 子育て支援

平成29年5月19日（金） 13:30~16:00

講演 「子育てハッピーアドバイス大好き！が伝わるほめ方・叱り方」

講師 真生会富山病院 明橋 大二 氏

1 講演要旨 「子育てハッピーアドバイス」
～自己肯定感を育む子育て支援を考える～

- 1) ①子どもにとって一番大切なのは、自己肯定感である
自己肯定感＝自己評価・自尊感情
私は存在価値がある・生きてていいんだ・私は私でいいんだという、自己肯定感がこころの土台となる。
- 2) ①子どもの心は、どのように成長するのか
甘えと反抗の繰り返しである。じゅうぶん甘えを受け入れてもらえた子が自立していく。（しかし自立と孤立を間違えてはいけない。自立は人に助けを求めることができるが、孤立は人に助けを求めることができず人の力を借りることが悪いことだと思ってしまう。）

②してはいけないこと → 過干渉と放任
子どもがやることを大人がやってしまうのはいけない。子どもの気持ちをしめつけすぎたり、子どもの気持ちをほったらかしにしすぎるのも心が壊れる原因になる。

③「甘えさせる」と「甘やかす」のちがい
甘えさせる→情緒的な要求 甘やかす→物質的な要求
甘やかしていたら自分の心のさみしさを物で埋めようとするようになる。情緒的な要求を受け入れてもらえると、信頼感も築いていける。
- 3) ①反抗期の対応
反抗したら一安心 → 甘えを受け入れてもらい安心感があるから反抗できる。

4) ①具体的な対応

気持ちを汲んで言葉にして話しかける→言葉育て（トイレに行きたかったんだよね 等）

言葉を教えてもらうことで表現の仕方を知り、自分の気持ちを言えるようになる。

言葉育てが少なかった子どもは、表現の仕方が分からなかったり難しく、身体化（お腹をこわす）、行動化（暴れる・自分の髪の毛を抜く）等、別の形で表現してしまう。

☆褒めるポイント☆

*できないことより、できている所に目を向ける

*「できて当たり前」ではなく、「できなくて当たり前」

*比較するなら、以前のその子と

2 感想

自己肯定感というのは、子どもにとっても大人にとっても大切な事だと思う。子どもの頃から自分を認めてもらう事は自信にも繋がるし色々なことに意欲的になれると思う。子どもの甘えをしっかりと受け入れ、子どもも安心感を持って保育者の愛情を受け入れてくれるような関わりをしていきたい。保護者に対しても、保護者を変えようとするのではなく、子育てを頑張っておられる事を褒め認める言葉掛けをし、まずはしっかりと信頼関係を築いていけるようにしたい。

（記録 亀岡あゆみ保育園 愛甲 恵美）